パソコン変更時のデータや各種設定内容の移行について

文書管理番号：1125-05

Q.質 問

パソコンを変更するので、A's（エース）で作成したデータや各種設定内容を移行したい。

A.回 答

A's（エース）を使用するパソコンを変更する場合、これまで使用していたパソコンで作成した物件・図面・プレゼンボードなどのデータや変更している各種設定内容をそのまま使用するには、各データの移行作業が必要です。

データや設定環境をまとめて移行する場合

A's（エース）で作成したデータや各種設定内容は、保存場所を変更していない場合、A's（エース）のインストールフォルダー内に保存されています。
データや各種設定内容は個別に移行できますが、これまで使用していたパソコンの A's（エース）のインストールフォルダーを、フォルダーごと新しいパソコンにコピーすることで、データや各種設定内容をまとめて移行することができます。
新しいパソコンにコピーした後に、コピーしたフォルダーに対して A's（エース）をインストールすると、これまで使用していたパソコンと同じ状態にすることができます。

【注意】
A's（エース）をインストール後にフォルダーを上書きしてしまうと、正常に動作しなくなるため、必ず、以前使用していたパソコンのインストールフォルダーをコピー後に、A's（エース）をインストールしてください。

A's（エース）のインストールフォルダーをコピーして移行するには、容量が大きな外部メディア（USBメモリや外付けハードディスクなど）や共有フォルダーが必要です。

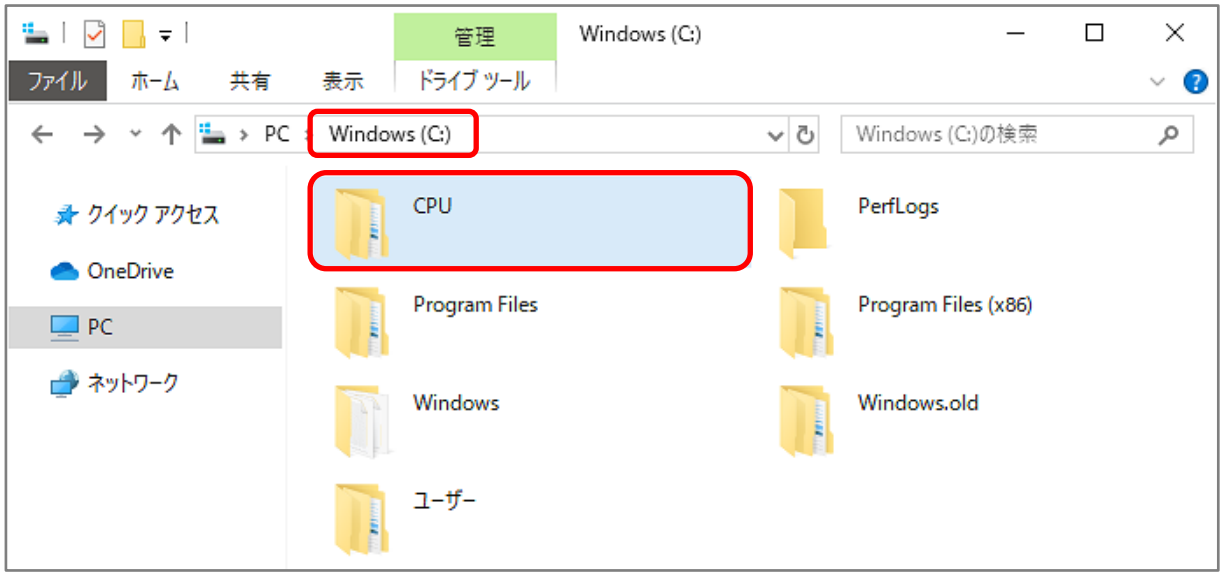
＊　必要な容量は、作成している物件データのサイズなどにもよりますが、100GB 程度の空き容量がある外部メディアや共有フォルダーをご用意ください。

A's（エース）のインストールフォルダーは、インストールドライブを変更していない場合、

C ドライブ　⇒　「CPU」フォルダー　⇒　「A's」フォルダー

です。

＊　下記は、初期の設定のままで C ドライブに A's（エース）をインストールしている場合です。



エクスプローラーを使用して、A's（エース）をインストールしているドライブ内の「CPU」フォルダーを、フォルダーごと USB メモリなどの外部メディアや共有フォルダーにコピーしてください。

＊　コピーする容量が大きいので、コピーには一定の時間がかかります。表示される時間を目安にしてください。

外部メディアや共有フォルダーにコピーした「CPU」フォルダーを、新しいパソコンの A's をインストールするドライブの直下にコピーし、コピー後に A's（エース）のインストールを行います。

＊　A's（エース）のインストールは、「CPU」フォルダーをコピーしたドライブに対して行ってください。

A's（エース）のインストール手順については、次のURL（Webアドレス）をクリックしてダウンロードサイトにアクセスし、表示されたページの手順をご覧ください。

https://www.cpu-net.co.jp/as-dl/

A’s（エース）のダウンロードサイトには、弊社ホームページからもアクセスできます。
弊社ホームページから A’s（エース）のダウンロードサイトへアクセスする手順については、こちらをご覧ください。

[1001] A’s（エース）のインストール方法

【注意】
データや設定環境をまとめて移行する際に、A's（エース）のインストールドライブが、移行元（これまで使用していたパソコン）と移行先（新しいパソコン）で異なる場合は、新しいパソコンに A's（エース）をインストール後、設定の変更が必要です。

＜インストールドライブが異なる場合＞
例）移行元（これまで使用していたパソコン）では、A’s（エース）を C ドライブにインストールしていたが、移行先（新しいパソコン）では、A’s（エース）を D ドライブにインストールして使用する場合など

インストールドライブが異なる場合の A's（エース）インストール後の設定変更については、P.5 からの「参考」をご覧ください。

データや設定環境を個別に移行する場合

A's（エース）で作成した各データや各種設定内容などは、所定の手順によって、個別に別のパソコンに移行することができます。

物件データや各種設定内容などを個別に移行する場合は、こちらをご覧ください。

- **「物件管理」で作成・管理している物件データ**
  [1024] 別パソコンで作成した物件データの使用方法【物件管理】
  [1124] 別パソコンへの物件データの移行方法【物件管理】

- **「物件選択」で作成・管理している物件データ**
  [1025] 別パソコンで作成した物件データの使用方法【物件選択】

  ＊　「物件管理」と「物件選択」の違いやそれぞれの特長については、こちらをご覧ください。
  [1113] 物件管理と物件選択の違いについて

- **追加登録した各種データや変更した設定内容**
  [1093] マスターインポートエクスポートツールの利用

図面やプレゼンボードのデータの初期保存先は、A's（エース）のインストールフォルダー内の以下のフォルダーとなっています。
保存先を変更している場合は、各保存先から所定のファイルやフォルダーを移行してください。

- **図面編集で作成・保存した図面データ（zcd ファイル）**
  「¥CPU¥A's」フォルダー

- **図面一括で作成・保存した図面データ（zcd、jww ファイルなど）**
  「¥CPU¥A's¥作成図面¥各物件名」フォルダー

- **図面マネージャで作成・保存した図書データー式**
  「¥CPU¥A's¥作成図面¥図面マネージャ」フォルダー

- **プレゼンボードのデータ（dmt ファイル）**
  「¥CPU¥A's¥DATA」フォルダー

参考：インストールドライブが異なる場合の A’s（エース）移行後の設定変更

P.1～2 の「データや環境設定をまとめて移行する場合」の操作方法で移行する際に、A's（エース）のインストールドライブが、移行元（これまで使用していたパソコン）と、移行先（新しいパソコン）で異なる場合は、新しいパソコンに A’s（エース）をインストール後に、下記の手順で設定の変更を行ってください。

＊ インストールドライブが異なる場合とは、例えば、移行元（これまで使用していたパソコン）では、A’s（エース）を C ドライブにインストールしていたが、移行先（新しいパソコン）では、A’s（エース）を D ドライブにインストールして使用する場合などが該当します。

新しいパソコンに A’s（エース）をインストール後、データや設定環境を個別に移行された場合は、以下の作業は必要ありません。

● **「物件管理」の保存・読込先の変更**

(物件管理)での顧客・プランデータの保存・読込先を、インストールドライブに合わせて変更します。変更作業は、A’s（エース）を起動していない状態で行ってください。

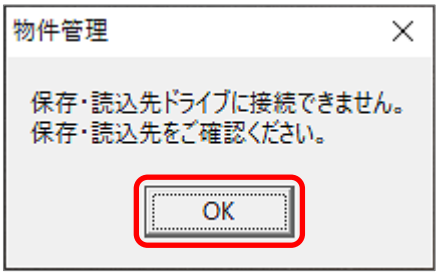
① デスクトップの(A's (エース))をダブルクリック

＊ 「A’s（エース）」グループの画面が表示されます。

② (A's (エース))をダブルクリック

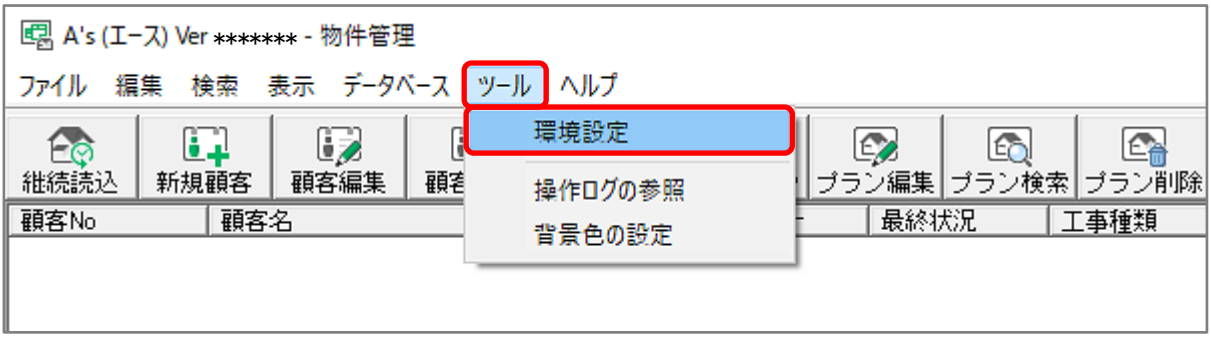
＊ 物件管理の画面が開きます。

＊ 移行元（これまで使用していたパソコン）で A’s（エース）をインストールしていたドライブが、移行先（新しいパソコン）にない場合は、「保存・読込先ドライブに接続できません。保存・読込先をご確認ください。」とメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、環境設定の保存・読込先設定画面が直接開きますので、P.6 操作④から続けてください。

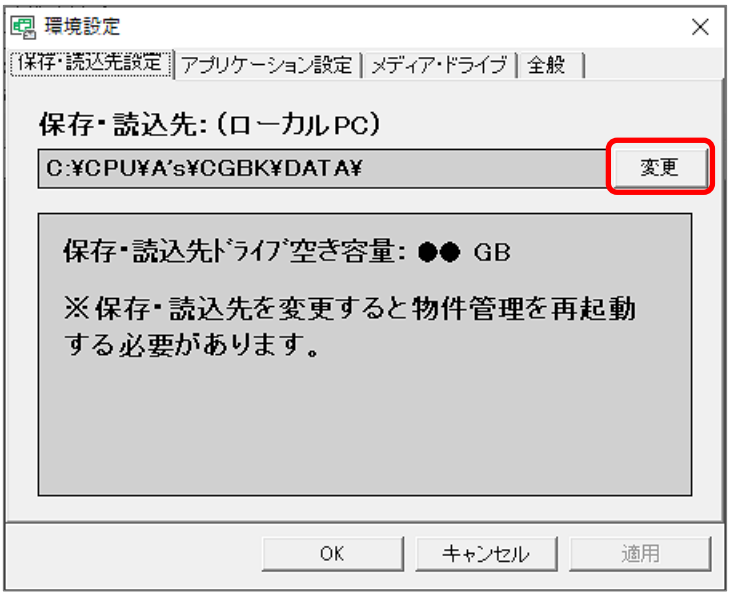
③ 「ツール」⇒「環境設定」をクリック



＊ 環境設定の画面が開きます。

④ 「保存・読込先設定」タブで、「変更」をクリック

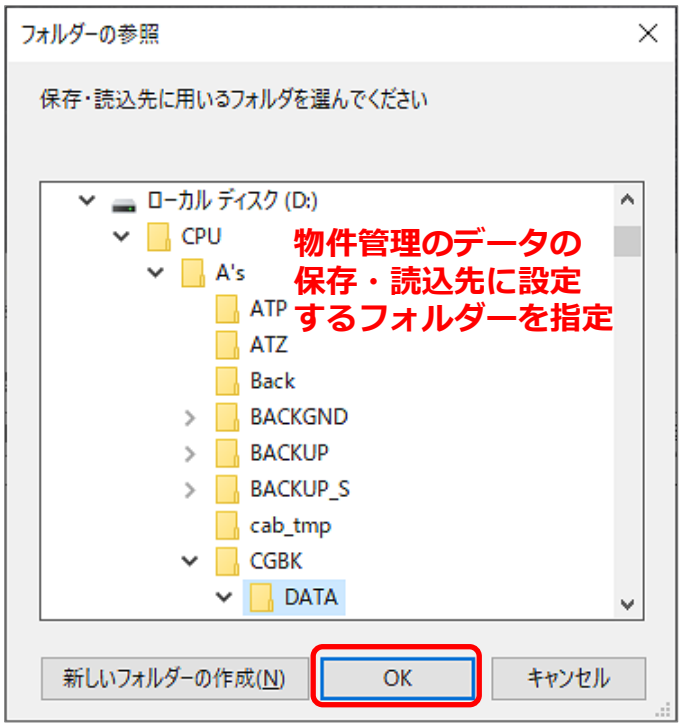
＊ フォルダーの参照の画面が表示されます。



⑤ 物件管理のデータの保存・読込先に設定するフォルダーを指定

＊ 物件管理のデータの保存・読込先の初期値は、インストールドライブの「CPU」フォルダー⇒「A's」フォルダー⇒「CGBK」フォルダー⇒「DATA」フォルダーとなっています。
ドライブはインストール先に合わせて選択してください。

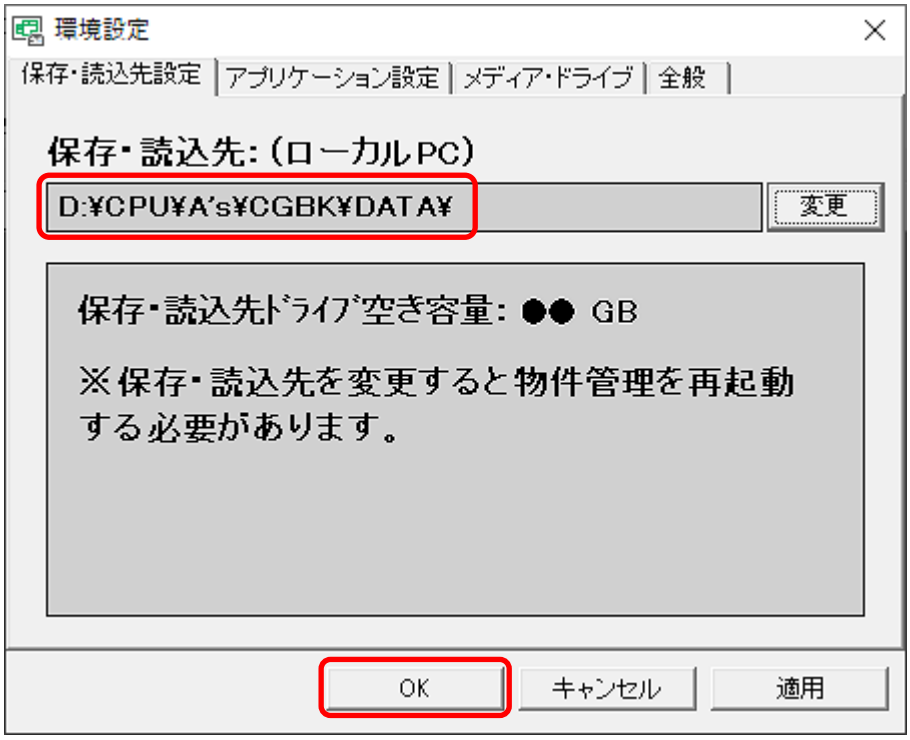
例えば、D ドライブに A's（エース）をインストールした場合は、「D:¥CPU¥A's¥CGBK¥DATA」フォルダーを指定します。



⑥ 「OK」をクリック

＊ 環境設定の画面に戻ります。

⑦ 「保存・読込先」の内容が変更されていることを確認し、「OK」をクリック



＊ メッセージが表示されます。

⑧ 「OK」をクリック

＊ 物件管理が再起動します。再起動後、これまで使用していたパソコンで作成した顧客・プランデータが表示されます。

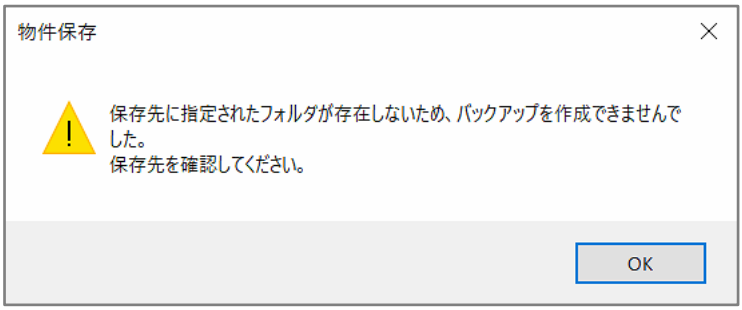


【参考】

A's（エース）は C ドライブにインストールしたが、プランデータは空き容量の多い D ドライブに保存したいといった、A's（エース）をインストールした先と、プランデータを保存したい先が異なる場合も、同様の操作で設定できます。

- **自動バックアップの保存先の変更**

(物件管理)や(物件選択)で、削除した物件データや上書き保存される編集前の物件データなどを、自動的にバックアップする際の保存先を、インストールフォルダーに合わせて変更します。
自動バックアップの保存先を変更せずに A's での作業を進めると、保存時などに以下のようなメッセージが表示されることがあります。



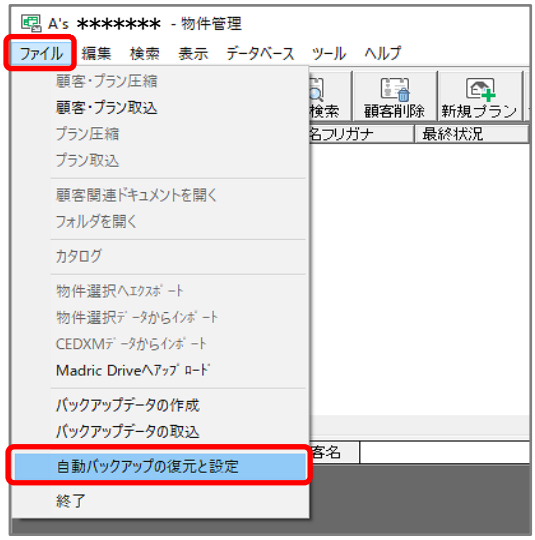
A's のインストールドライブが異なる場合は、「物件管理」または「物件選択」のどちらかで、自動バックアップの保存先を変更してください。
「物件管理」と「物件選択」の自動バックアップの保存先は、共通となっています。

① デスクトップの(A's (エース))をダブルクリック
　＊　「A's（エース）」グループの画面が表示されます。

② (A's (エース))または(物件選択)を開く
　＊　物件管理または物件選択の画面が表示されます。

③ 「ファイル」⇒「自動バックアップの復元と設定」をクリック

【物件管理の場合】



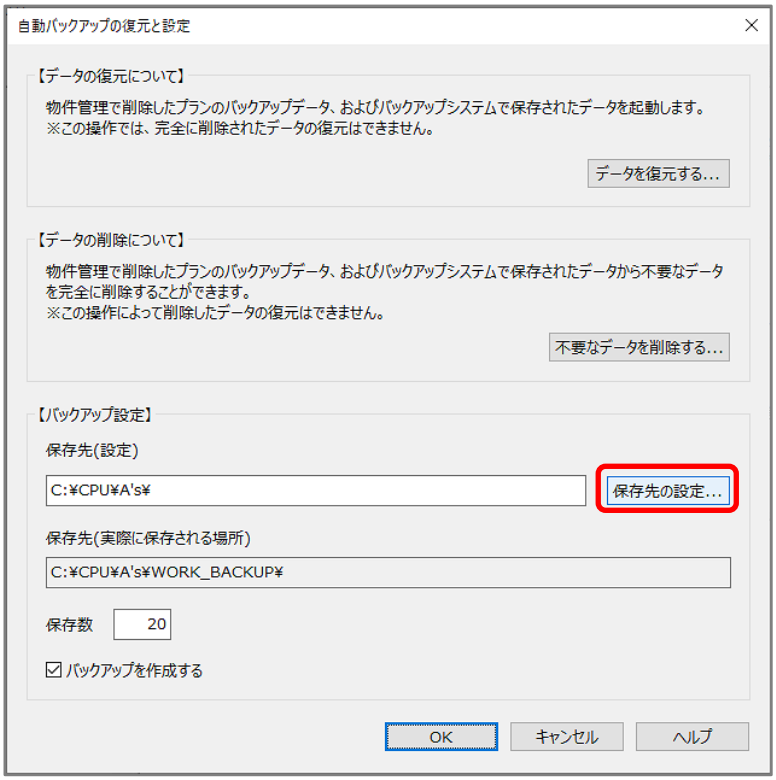
【物件選択の場合】



　＊　自動バックアップの復元と設定の画面が表示されます。

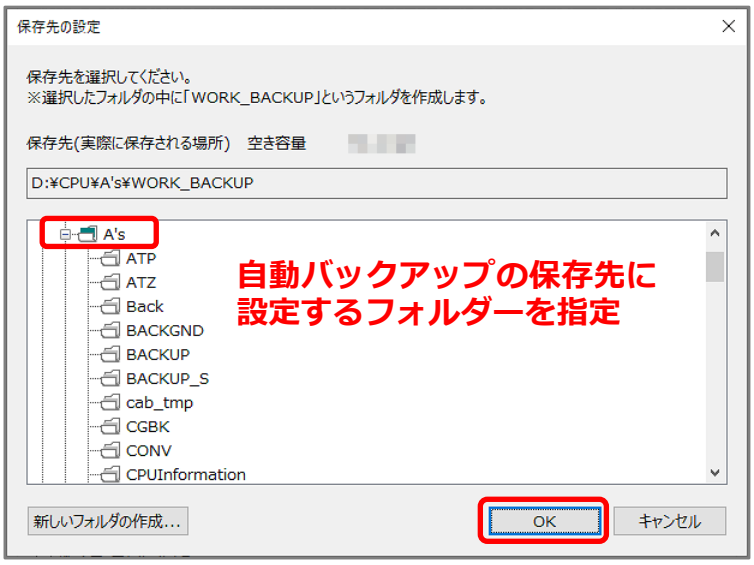
④ 「保存先の設定」をクリック

＊ 保存先の設定の画面が表示されます。



⑤ 自動バックアップの保存先に設定するフォルダーを選択

＊ 例えば、D ドライブに A's（エース）をインストールした場合は、「D:¥CPU¥A's」フォルダーを選択します。

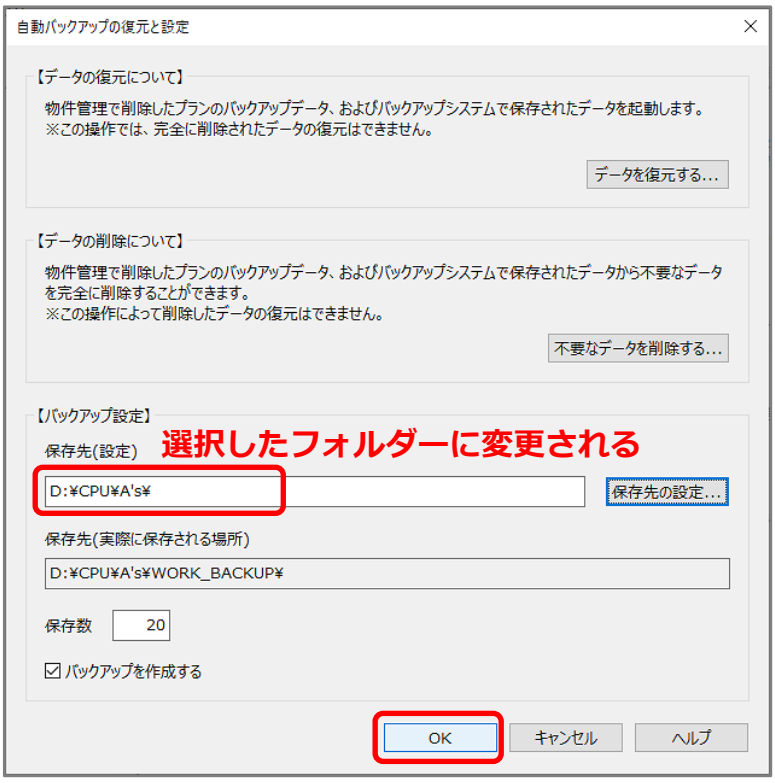


＊ 選択したフォルダーの中に「WORK_BACKUP」フォルダーを作成します。自動バックアップのデータは「WORK_BACKUP」フォルダーに保存されます。

⑥ 「OK」をクリック

自動バックアップの復元と設定の画面に戻ります。

⑦ 【バックアップ設定】の「保存先(設定)」が、選択したフォルダーに変更されていることを確認し、「OK」をクリック



＊ 保存先の変更にともない、旧保存先のバックアップデータの削除に関するメッセージが表示された場合は、「はい」「いいえ」のどちらかを選択してください。
「いいえ」を選択した場合は、旧保存先にバックアップデータが残ることの確認メッセージが表示されます。

【注意】保存先について
保存先を外部メディア（USB メモリや外付けハードディスクなど）に指定すると、それらを取り外した場合、自動バックアップが正常に動作しなくなります。
同じ環境を再現できずに自動バックアップが正常に動作しない場合もありますので、ドライブ番号が変わっていないことを確認するか、設定を再度行ってください。

- **各種図面の詳細図（SHO）ファイルの保存先初期値の変更**

各種図面の詳細図(SHO)ファイルの保存先の初期値を、インストールドライブに合わせて変更します。

① デスクトップの(A's (エース))をダブルクリック

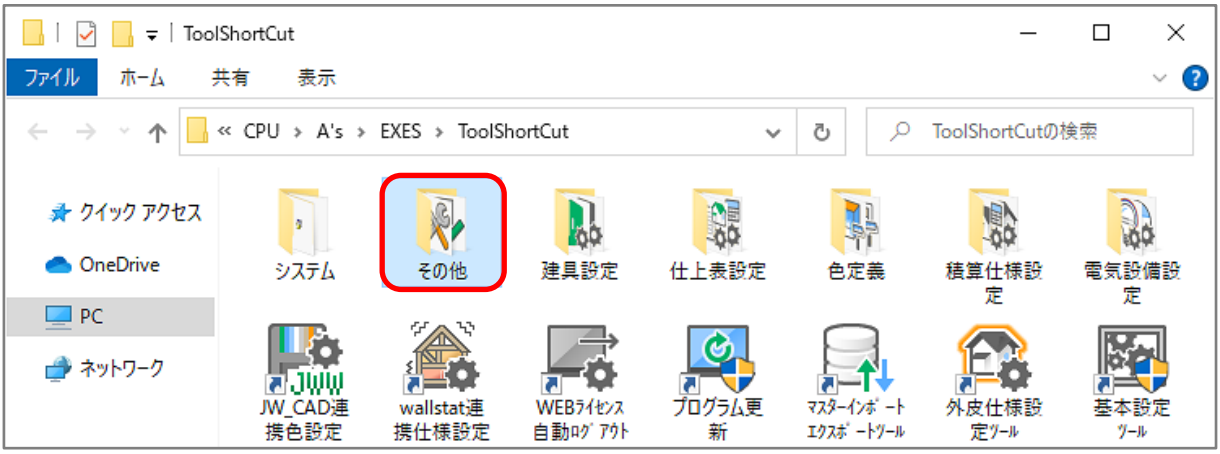
＊　「A’s（エース）」グループの画面が表示されます。

② (各種ツール)をダブルクリック



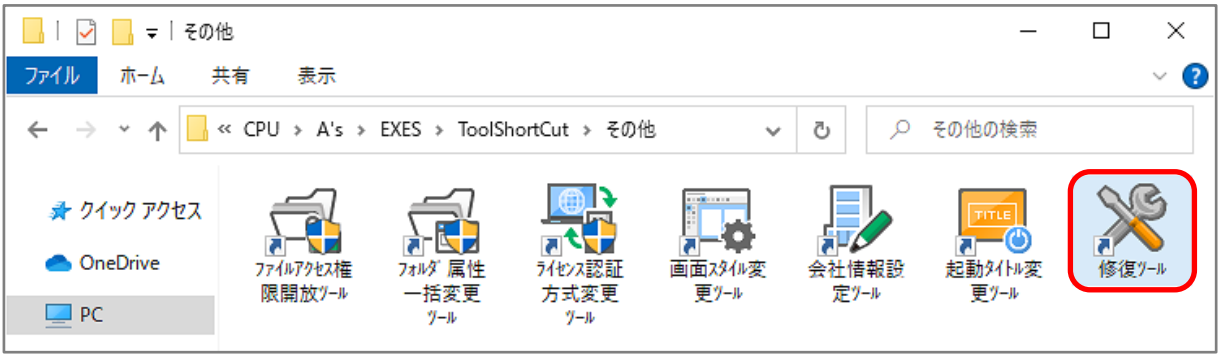
＊　「各種ツール」グループの画面が表示されます。

③ 「その他」フォルダーをダブルクリック



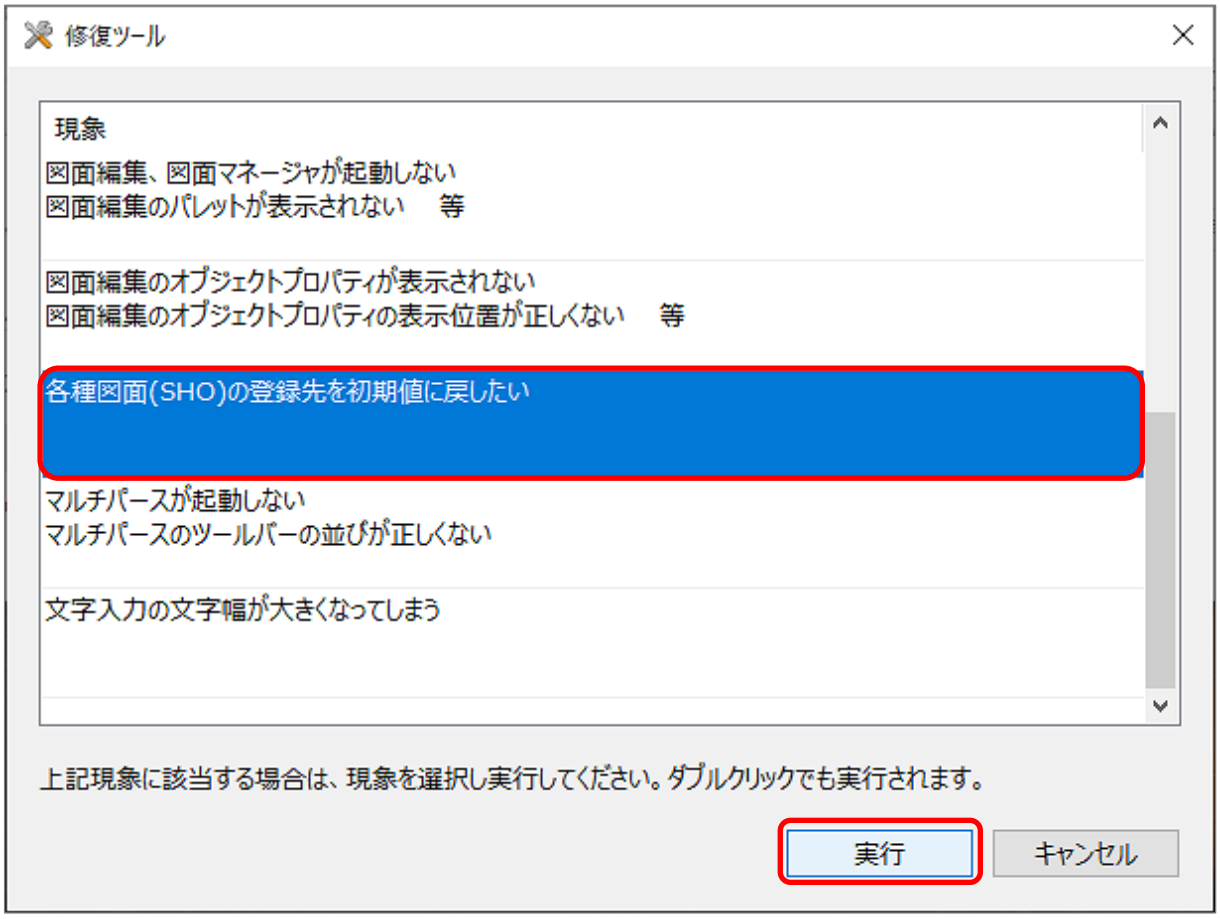
＊　「その他」グループの画面が表示されます。

④ (修復ツール)をダブルクリック



＊　修復ツールの画面が表示されます。

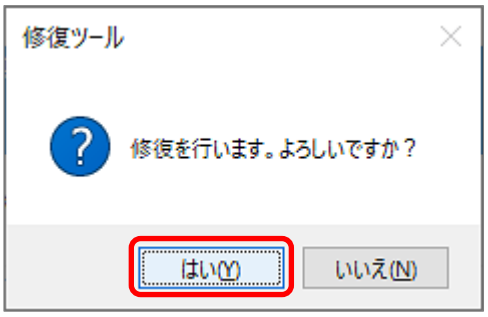
⑤ 現象から「各種図面(SHO)の登録先を初期値に戻したい」を選択し、「実行」をクリック



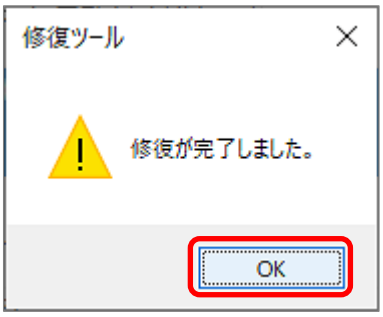
＊　「修復を行います。よろしいですか？」とメッセージが表示されます。

⑥ 「はい」をクリック

＊　「修復が完了しました。」とメッセージが表示されます。



⑦ 「OK」をクリック



⑧ 修復ツールの画面を「キャンセル」または右上の「×」で閉じる

- **デザイナーのプレゼンボードのパス設定**

(デザイナー)のプレゼンボードの各種フォルダーのパス設定を、A's（エース）やデザイナーのインストールフォルダーに設定します。

デザイナーのプレゼンボードのパス設定については、こちらをご覧ください。

[1155] プレゼンボードの各種フォルダーの設定について